
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第18号

2010/11/03配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成22年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 10/27～11/03までの更新情報 -----

●お知らせ

【2010/10/01】

- ・ ○アンケート CHRIP利用実態調査にご協力をお願いします。

→ <http://www.mizuho-ir.co.jp/topics/chrip2010.html>

NITE 化学物質管理センターが運営する化学物質に関するデータベース「化学物質総合検索システム(CHRIP)」の掲載情報の充実や効果的な運用方法を検討するため、CHRIPを利用している皆様を対象に、掲載されている情報の利用頻度やご意見をお聞きするアンケートを実施しています。ご多忙中誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は、利用者個人への調査であり、会社等の組織のお考えを戴くものではございません。また、個人情報をお聞きすることはございません。

回答方法: 上記URLからインターネット方式で回答

実施期間: 11月5日(金)まで (期間を延長しました)

回答所要時間: 約10分

本アンケートは、NITEよりみずほ情報総研(株)に委託して実施しています。

アンケートに関するお問い合わせは、下記連絡先へお願いいたします。

みずほ情報総研株式会社

E-mail: chrip@mizuho-ir.co.jp 電話: 03-5281-5491

- 「化学物質のリスク評価セミナー ―化学物質のこれからを知る―」の開催のお知らせ

→ http://www.jswe.or.jp/calendar/2010/1217_01.html#101025_01

12月17日に当センターと日本水環境学会の主催で、本セミナーを開催します。化審法と化管法の制度説明、PRTRデータのリスク評価への活用、化審法の届出情報を利用するリスク評価についての解説が行われる予定です。ご登録及び詳細は、リンク先ホームページをご覧ください。

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2010/10/28】

- ・CHRIPのデータを更新しました。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/japan/osirase.html>

以下のデータが更新された。

- ・TSCA/SNUR重要新規利用規則(2010年8月23日更新分の反映)
- ・NTP長期試験レポート(2010年8月までの更新分の反映)
- ・用途情報(のべ464物質追加)

●経済産業省・厚生労働省・環境省

【2010/10/27】

- ・平成22年度第8回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会化学物質審議会第99回審査部会第105回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会 議事要旨

→ http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004475/099_giji.html

10月22日に開催された標記会合の議事要旨が掲載された。議題は、

- (1) 前回指摘事項等の確認等について
 - (2) 新規化学物質の審議について
- など。

【2010/11/01】

- ・少量新規化学物質の申出手続について

- ・経済産業省

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/moushide1012.html

- ・厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/11/tp1101-1.html>

- ・環境省

→ <http://www.env.go.jp/chemi/info/tetsuzuki.html>

12月1日～12月10日まで、平成22年度第4回化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(昭和48年法律第117号)に基づく少量新規化学物質に関して、平成23年1月1日～平成23年3月31日までの製造又は輸入分の申出が受け付けられる。なお、今回から申出システムがVer. 4.0に切り替わっているため、電子による申出の場合は、ダウンロード及び既存データがある場合はデータ移行が必要となる。また、返信用封筒は不要となっている。

●経済産業省

【2010/10/28】

- ・監視化学物質の製造・輸入数量の公表(平成21年度実績)

- ・第一種監視化学物質

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/release/h22/1kan.pdf

- ・第二種監視化学物質

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/release/h22/2kan.pdf

- ・第三種監視化学物質

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/release/h22/3kan.pdf

平成21年度の監視化学物質(第一種、第二種、第三種)の製造・輸入数量が公表された。

●厚生労働省

【2010/10/29】

- ・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会報告

- ・アセタミプリド

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-203.pdf>

- ・アジムスルフロン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-204.pdf>

- ・アミスルブロム

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-205.pdf>

- ・イプロベンホス

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-206.pdf>

- ・イミベンコナゾール

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-207.pdf>
・クロメプロップ

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-208.pdf>
・シフルフェナミド

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-209.pdf>
・スピロテトラマト

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-210.pdf>
・スピロメシフェン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-211.pdf>
・テフリルトリオン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-212.pdf>
・トリルフルアニド

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-213.pdf>
・ピリフルキナゾン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-214.pdf>
・ピリプロキシフェン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-215.pdf>
・ピリミスルファン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-216.pdf>
・ブタミホス

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-217.pdf>
・フルアクリピリム

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-218.pdf>
・フルシラゾール

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-219.pdf>
・プロチオコナゾール

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-220.pdf>
・プロパモカルブ

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-221.pdf>
・プロファム

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-222.pdf>
・ペントキサゾン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-223.pdf>
・ミルベメクチン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-224.pdf>
・1-メチルシクロプロペン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-225.pdf>
・メトラクロール

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-226.pdf>
・ルフェヌロン

→ <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/04/dl/s0420-4-227.pdf>

食品衛生法(昭和22年法律第233号)第11条第1項の規定に基づく25農薬に係る食品規格(食品中の農薬の残留基準)の設定について、審議結果が掲載された。

【2010/11/01】

- ・「毒物及び劇物取締法施行令の一部を改正する政令案」に対する御意見の募集について

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100229&Mode=0>

11月1日から30日までの間、標記の意見募集が行われる。

【2010/11/01】

- ・「毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令案」等に対する御意見の募集について

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495100228&Mode=0>

11月1日から30日までの間、標記の意見募集が行われる。

●環境省

【2010/10/25】

- ・インドネシア環境省との固形廃棄物、有害・毒性廃棄物管理の分野における協力覚書の署名について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13063>

10月24日、日本及びインドネシア環境省は「固形廃棄物、有害・毒性廃棄物管理の分野における協力覚書」の署名を行った。本協力文書に基づき、今後、2国間で有害廃棄物の処理システムに関する実現可能性調査の実施等の協力を進め、我が国静脈産業の海外展開を促進することとなった。

【2010/10/26】

- ・石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく指定疾病の認定に係る医学的判定の結果について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13071>

環境大臣は、石綿による健康被害の救済に関する法律に基づき、(独)環境再生保全機構からの申出に対する医学的判定を10月26日に行った。医

療費等に係る105件、特別遺族弔慰金等に係る20件について医学的判定が行われ、医療費等の申請に係る医学的判定で44件について石綿を吸入することによるものと判定された。特別遺族弔慰金等の申請(肺がん)に係る医学的判定については、1件が石綿を吸入することによるものと判定された。

【2010/10/26】

・第12回化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英共同研究ワークショップの開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13068>

11月3から4日にワークショップが開催される。化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英共同研究において中心となる4つのコアプロジェクトについて、両国の研究担当者が成果発表・意見交換を行う。

【2010/11/01】

・公害健康被害補償不服審査会裁決について(水俣病、大気系疾病関係)(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13090>

公害健康被害補償不服審査会は、公害健康被害の補償等に関する法律に基づいて行われた、水俣病認定申請棄却処分を不服として審査請求をされている事件1件、及び大気系疾病被認定者の障害補償費の改定請求棄却処分を不服として審査請求をされている事件1件、並びに大気系疾病被認定者死亡に係る遺族補償一時金及び葬祭料の支給に関する処分を不服として審査請求をされている事件1件について、10月27日付けで1件を取消、2件を棄却とした。

【2010/11/01】

・公害健康被害補償不服審査会裁決について(石綿関係)(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13089>

公害健康被害補償不服審査会は、石綿による健康被害の救済に関する法律に基づいて、(独)環境再生保全機構が行った、特別遺族弔慰金及び特別葬祭料の支給を行わないとする処分を不服として審査請求をされている事件2件について、10月27日付けで1件棄却、1件を却下とした。

【2010/11/01】

・海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律第9条の6第3項の規定に基づく未査定液体物質の査定結果(案)についての意見の募集(パブリックコメント)について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13088>

11月3日から11月30日までの間、標記の意見募集が行われる。対象物質は、イソフタル酸ジ-2-エチルヘキシル。

【2010/11/01】

・中央環境審議会水環境部会地下水汚染未然防止小委員会(第3回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13086>

11月10日に標記会合が開催される。議題は、地下水汚染の効果的な未然防止対策の在り方について、など。

●内閣府食品安全委員会

【2010/10/27】

・「食品安全委員会季刊誌第24号」を掲載

→ http://www.fsc.go.jp/sonota/kikansi/24gou/24gou_1_8.pdf

食品安全委員会季刊誌「食品安全」の最新号が発行された。内容は、食品に関するリスクコミュニケーション、食品中の化学物質の安全性、など。

【2010/10/29】

・「食品のリスクを考えるサイエンスカフェ(滋賀県)農産物に残留する農薬のリスクはどのくらい?」の開催のお知らせと参加者募集

→ http://www.fsc.go.jp/koukan/science_cafe_annai_shiga221126.html

11月26日に滋賀県大津市にて開催される標記会合の参加者を、11月19日まで募集する。

●国立医薬品食品衛生研究所

【2010/10/29】

・「毒劇物指定のための有害性情報の収集・評価」欄を設け、2005～2008

年度に検討した物質の報告書を掲載しました。

- ・評価物質リスト

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyouka/list.pdf>

- ・評価報告書

→ <http://www.nihs.go.jp/law/dokugeki/hyoukaindex.html>

薬事・食品衛生審議会における検討の基礎資料として、「毒劇物指定のための有害性情報の評価報告書」が作成・公表された。なお、報告書に記載された結論は、審議会による最終的な結論ではない。

【2010/10/29】

・NTP-CERHRモノグラフ(アンフェタミン、フタル酸ジイソノニル)の翻訳を掲載しました。

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/ntp/ntpindex.html>

NTP-CERHR(米国NTPのヒト生殖リスク評価センター)提供のヒト生殖発生影響評価モノグラフの主要部分が翻訳され、掲載された。

●農業環境技術研究所

【2010/11/01】

・農業と環境No. 127を掲載しました。

→ <http://www.niaes.affrc.go.jp/magazine/mgz127.html>

農業環境技術研究所が農業と環境にかかわる情報を提供する月刊ウェブマガジン「農業と環境」の最新号が発行された。内容は、7月にオーストラリアのメルボルンで開催された第12回IUPAC農薬化学会議の参加報告、など。

【2010/11/01】

・農業環境技術研究所年報第27号(平成21年度)を掲載しました。

→ <http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/publish/yearbk.html>

化学物質に関するものとして、「農業環境のリスクの評価及び管理技術の開発」の研究実施概要などが掲載されている。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2010/10/27】

・ ECHA Newsletter 5/2010 has been published

→ http://echa.europa.eu/doc/press/newsletter/echa_newsletter_2010_5.pdf

ニュースレター(第5号)が発行された。

【2010/10/29】

・ Second draft Guidance on the compilation of safety data sheets (SDSs)
sent to Partner Expert Group

→

http://guidance.echa.europa.eu/docs/draft_documents/draft_guidance_on_sds_second_20101027.pdf

ECHAは、安全性データシートの編集ガイダンスの第2ドラフトをPEG (Partner Expert Group) に送付した。

●化学物質国際対応ネットワーク

【2010/11/01】

・ 「日中韓の化学物質管理政策に関するセミナー」の資料を掲載しました。

→ http://www.chemical-net.info/seminar.html#sem_jck1

9月9日に開催された標記公開セミナーの発表資料が掲載された。

●アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)

【2010/10/29】

・ JAMP情報流通基盤第2弾無料モニタープログラム説明会大阪追加開催のご案内

→ http://www.jamp-info.com/information/101028_gp

標記プログラムのための説明会(11月25日、大阪会場)が追加された。東京では11月10日に開催される。

本プログラムは、平成22年10月1日から平成23年3月末までの6ヶ月間、JAMP AIS、JAMP MSDSplusの登録、要求、入手など、JAMP情報流通基盤が行う一連のサービス(ASサービス含む)を、「無料モニター会員」として、JAMP会員/非会員問わず先着300社が利用できるものである。ただし、JAMP情報センターのホームページに「無料モニター会員」として企業名を掲載することが条件となる。

●EICネット

【2010/11/02】

- ・米国環境保護庁、室内空気質の改善に240万ドル助成

→ <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=24151&oversea=1>

米国EPAは、全国の室内空気質を改善するために、17の非営利団体及び大学と協力協定を締結し、総額240万ドルを助成する。米国人は1日の約90%の時間を室内で過ごす、室内の空気は屋外に比べて2～5倍も汚染レベルが高いとされているため。

●GHS-NET

【2010/10/28】

- ・[ケミラウンジ] 新たに投稿がありました

→ <http://www.ghs-net.jp/>

▼[ケミラウンジ] 下記の質問が投稿されました。

- ・引火点の計算式(10/28)

▼[GHSカレンダー]下記の地域の情報が投稿されました。

- ・日本(10/20)

ぜひご覧いただき、意見・情報を投稿下さい。

※ケミラウンジへの投稿は、GHS-NET会員限定です。

ログインしてご利用下さい。

会員登録されていない方は、ぜひ登録(無料)をお願い致します。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手続をしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。
→ chem-manage@nite.go.jp
- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- ・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境・資源エネルギー部 環境リスクチーム